

# 心理支援におけるAI活用の現在地とこれから

## —臨床的判断力で見極める拓けるもの・守るべきもの—

AIの進化は驚くほど速く、検索や文章作成など、私たちはすでに日常生活の中で当たり前のように使っています。国も多くの産業で業務効率化のためのAI活用を推奨しており、心理支援の現場でも試行錯誤が始まっています。しかし、心理支援におけるAI活用のガイドラインは十分に整っているとは言えず、守秘義務など倫理綱領に抵触してしまうリスクを考えると「本当に使って良いのか」と迷う場面もあるでしょう。

本研修ではこうした現状を整理し、心理業務の課題と未来を見据えながらAIとどう共存できるのかを一緒に考えます。研修の前半ではAI活用に関する講義、各領域の心理士よりAI活用についての話題提供、ご自身のスマホ等を使った体験ワークショップを行います。後半では倫理問題に関する指定討論とグループディスカッションを予定しています。自分の臨床にAIをどのように取り入れるのか、その判断を支える力を養い、仲間と共有していきましょう。

※日本臨床心理士資格認定協会ポイント(2ポイント)申請予定です。

- ▶ **日時**：2026年5月9日(土)  
12:30~17:30
- ▶ **会場**：大阪経済大学D館12教室
- ▶ **定員**：100名
- ▶ **費用**：大阪府臨床心理士会会員 3,000円  
非会員・公認心理師 5,000円  
※イベントバイ手数料220円がかかります

### 【講師】

高原龍二先生 (大阪経済大学)  
阿部桂大先生 (ティーパック株式会社)

### 【話題提供】

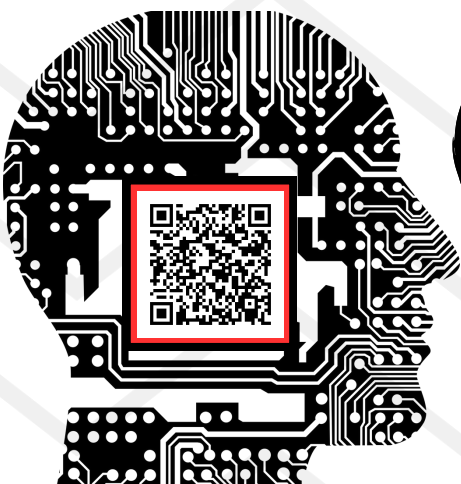
川端康雄先生 (大阪医科薬科大学病院)  
桑田直弥先生 (運動器ケアしまだ病院)  
吉野徳一郎先生  
(公立学校スクールカウンセラー)  
畑理恵先生 (PSYCREATION株式会社)  
岡村香織先生 (大阪経済大学)

- 1部「AIを使うための基礎的考えを学ぼう」
- 2部「心理士×AIの工夫図鑑」
- 3部「AIを使って心理教育の資料を実際につくってみよう」
- 4部「指定討論：AIを使うことのリスクや依存性について考える」
- 5部「グループディスカッション」

僕にもAIって使いこなせる？  
みんなどんな風に使ってるのかな？  
面接記録をまとめてもらうのはNG？  
ケース検討でヒントをもらうのはOK？  
気をつけることは？



→ 申込はこちら →



文:人間+chatGTP  
イラスト:人間+canva